

令和5年度麻布大学同窓会熊本県支部総会開催報告

令和5年11月3日14時から、熊本城に隣接する「KKRホテル熊本」において、令和5年度熊本県支部総会を開催いたしました。

23人の同窓会会員が参加し、来賓として本学より川上泰学長のご列席を賜りました。冒頭、故河津隆徳氏1969年(昭和39年卒業)に対し黙祷を捧げ、総会は大澄正敬支部長1976年(昭和51年)卒業から、コロナ



過により過去3年間開催できず4年ぶりの開催を喜ぶと同時に会員同士の親睦を深める様、御挨拶がありました。田代重幸氏1981年(昭和56年卒業)の議事進行により行事報告、収支決算報告・監査報告について協議を行い、全て原案通り了承されました。近況報告では今年の7月に鹿児島で開催された九州地区連絡協議会で小澄支部長が会長に再任された事を報告し、役員改選においては現役員による執行体制の継続が決定しました。



引き続き「麻布大学の現状について」と題し、川上泰学長よりご講演をいただきました。麻布大学及び付属高校の定員と学生数、麻布獣医学園の財務状況、獣医学部に新学科、「獣医保険看護学科」を2024年4月に新設すること、付属病院の体制強化、フィールドワーク教育、動物共生科学ジェネラリスト育成プログラムなどについて詳しく御説明

いただきました。

総会後の懇親会は、鈴木透先生1968年(昭和43年卒業)の乾杯により、在学当時の思い出、近況報告等、世代を超えた交流がなされ、盛り上がりのうちに終了とすることが出来ました。

熊本県支部事務局 陳田誠士

